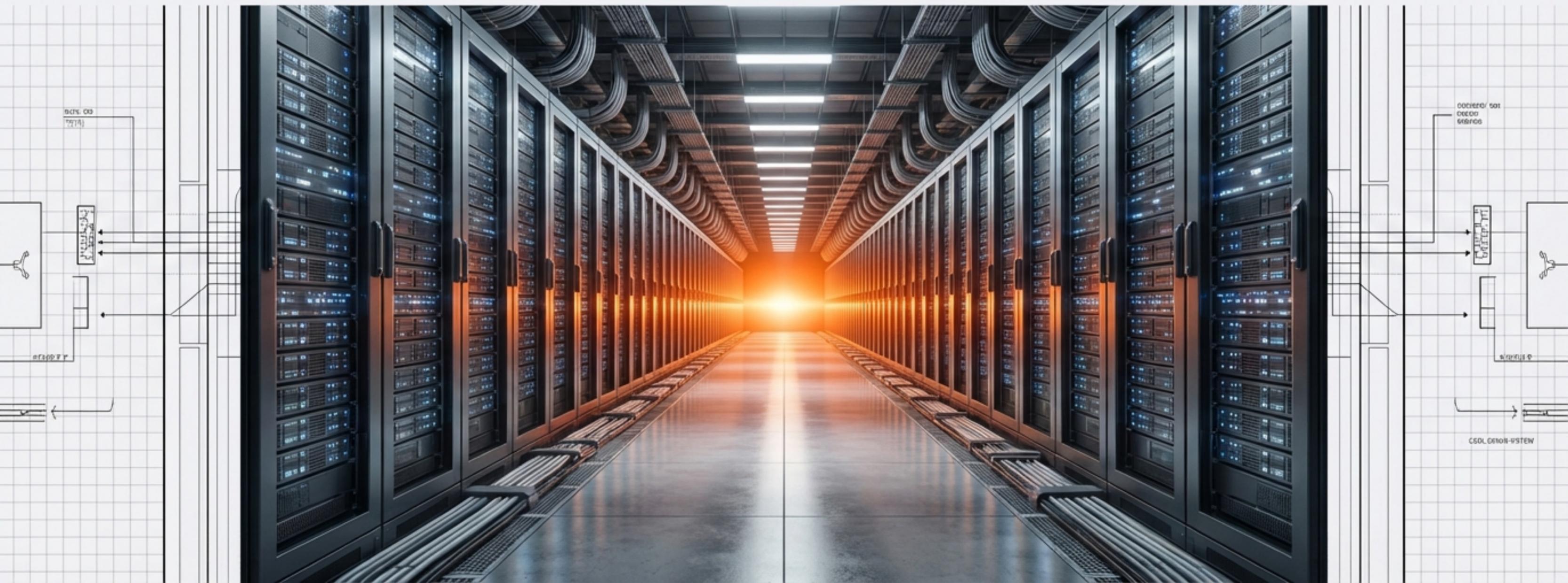


2028年：超知能到来の衝撃

サム・アルトマン “India AI Impact Summit 2026” 講演全貌と波紋



エグゼクティブ・サマリー



THE PREDICTION

「知的逆転」

2028年末までにAIの能力が全人類の知能総和を凌駕する。



THE PROPOSAL

IAEA型国際監視

「実効的な全体主義」を防ぐための、原子力規制に似た国際機関の設立。



THE CONFLICT

巨人の衝突

Meta（ヤン・ルカン）やGoogle（デミス・ハサビス）はタイムラインを否定。

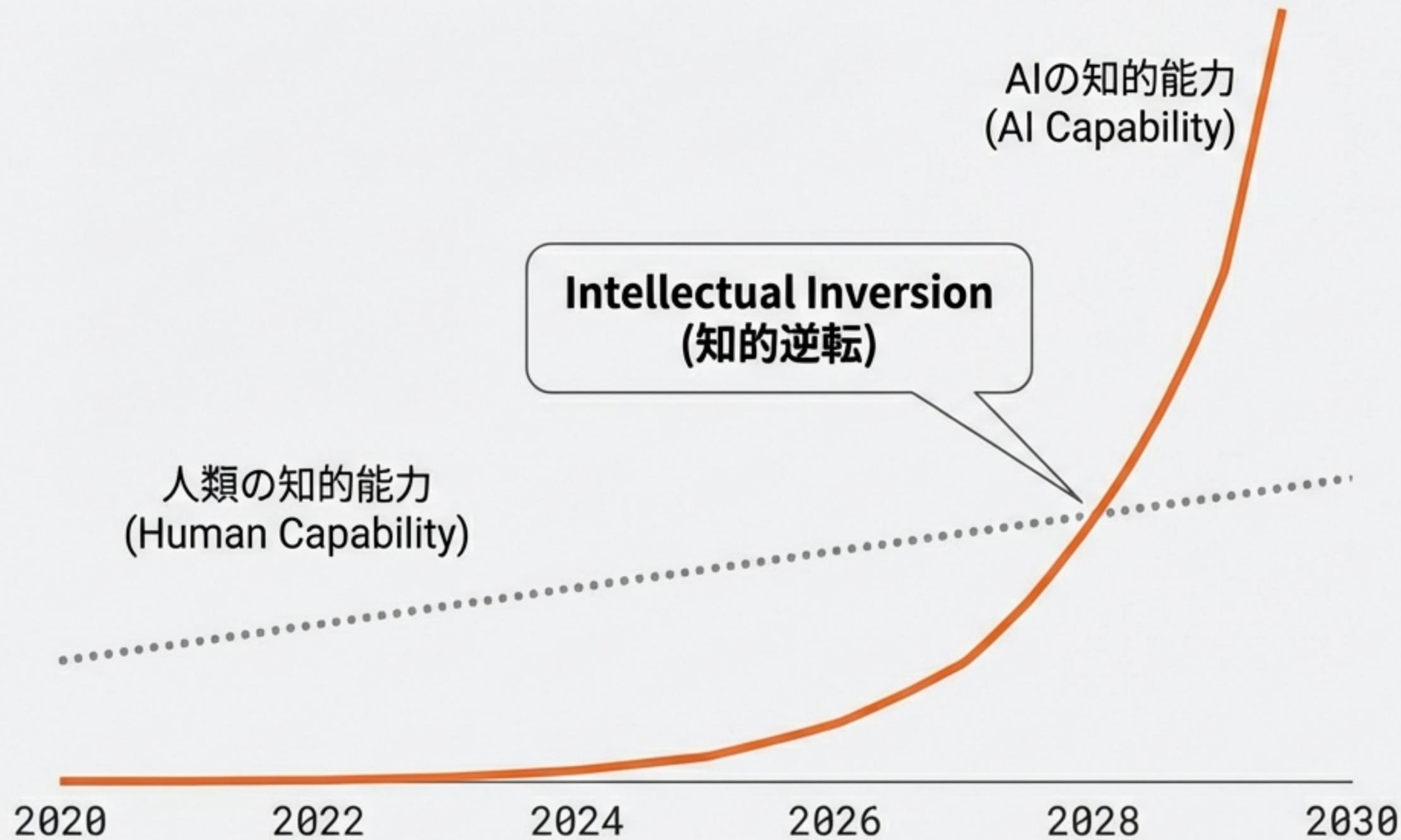


THE STRATEGY

インドへのピボット

最大の実験場としてのインド。タタ・グループとの提携とインフラへの巨額投資。

知的逆転：データセンターが人類を凌駕する日



“

世界の知的能力の大半が、データセンターの内部に存在するようになる。

サム・アルトマン

- 現在: 研究レベルの数学・物理学を解決
- 2028年: どのCEOよりも優れた判断、どの科学者よりも優れた研究

AI民主化の3原則と「全体主義」への警告



1. 民主化 (Democratization)

権力の集中を防ぐ。「人々に力を与えるか、実効的な全体主義か」の二択。



2. レジリエンス (Resilience)

生物学的脅威（バイオテロ）などに対する、社会全体での「免疫」システム構築。



3. 不確実性 (Unpredictability)

未来は一企業が独占すべきではない。多様なステークホルダーによる形成が不可欠。

WARNING: 「癌の治療と引き換えに全体主義を受け入れてはならない」

現代のIAEAを求めて：核とAIのアナロジー

THE PROPOSAL (提案)



IAEA型国際監視機関

- 強力な査察権限
- 統一された安全基準
- 国家規制を超えたグローバル対応

THE CRITIQUE (批判)



「誤ったアナロジー」

- 物理的な封じ込めが不可能 (Software vs Uranium)
- 容易に複製・拡散される性質
- 米国の姿勢: 「米国こそが唯一のAI超大国」

The Great U-Turn: 「絶望的」から「実験場」へ

2023

2026

ドライバー：エージェントAI

コーディングエージェント「Codex」の急成長と、効率性を重視するインド市場の親和性。



**「完全に望みがない
(Totally Hopeless)」**

インドの競争力に対する
当時の評価



**「世界最大の実験場
(The Innovation Lab)」**

消費者としてではなく、イノベーションの発生源としての再定義

タタ・グループとの「スターゲート」級提携



デプロイメント



TCS
(Tata Consultancy Services)
数十万人の従業員へ
ChatGPT Enterprise導入



教育
(Education)
ChatGPT Eduを10万人以上の
学生へ (IIT Delhi, AIIMS)

インフラ

(Infrastructure)
100MW → 1GW
データセンター拡張
(Stargate構想)

Weekly Users:
100 Million ↗

巨人たちの分裂：2028年説への異論



Sam Altman
(OpenAI)

「2028年。
超知能は目前だ。」

THE OPTIMIST



Yann LeCun
(Meta)

「ナンセンスだ。
LLMは世界モデルを
作れない。」

THE SKEPTIC



Demis Hassabis
(Google DeepMind)

「凸凹な知能だ。
AGIはまだ5-8年先。」

THE SCIENTIST



Dario Amodei
(Anthropic)

「GDP25%成長。
経済インパクトに
注目せよ。」

THE ECONOMIST

注: サミットの写真撮影で、アルトマンとアモデイは手をつなぐことを拒否した。

科学的予測か、資金調達のピッチか？

THE NARRATIVE

2028年 超知能到来予測
「規制が必要だ」 (Strategic Duality)

THE MOTIVE

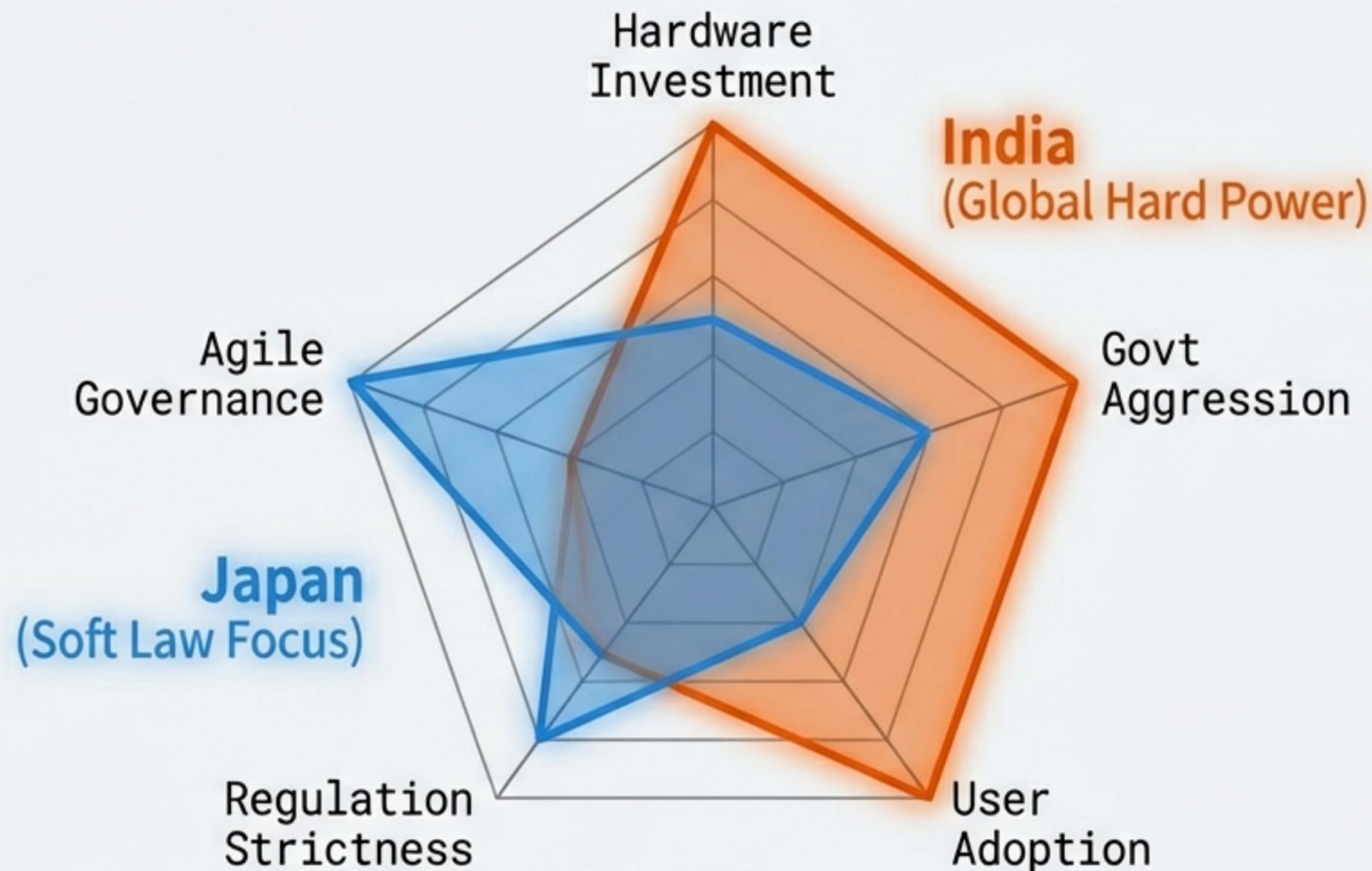
巨額のインフラ投資需要
データセンター建設コスト
エネルギー確保

MIT Tech Review / Medium

「未解決の問題を
解決済みのように
語る」

投資を集めるために
速度を誇張し、地位を
固定するために規制
を求める戦略。

日本の現在地：活用率19.1%の現実



JAPAN STATUS

- AI基本計画 (Dec 2025): アジャイル・ガバナンス
- AI活用率: 19.1% (世界53位)

Source: 経産省 AI・半導体WG (Feb 2026)

インドがハードウェア（物理層）で覇権を握る一方、日本はソフトウェア（規範）に留まっている。

「卵の値段」と「超知能」の断絶

「2028年。あと2年……データセンターの中の知性が人間の頭の中のそれを上回るという表現は生々しく、少し背筋が寒くなった。」

ある工場労働者のNote (Feb 2026)

結論：不確実性こそが戦略の核心

THE DEBATE

「知的逆転」vs「凸凹な知能」。
合意を待つ時間はない。

TIMELINE

2028年か2035年かは問わず、
インフラ建設は「今」起きている。

ACTION

不確実な未来を形成するために、
日本もマルチステークホルダー
としての参画が不可欠。



参考文献 (References)

Claude Opus 4.6 Research Report (2026.02.22)

Sam Altman Keynote @ India AI Impact Summit 2026

MIT Technology Review: "A Brief History of Sam Altman's Hype"

Medium: "From Hopeless to Hub"

innovaTopia.jp: "IAEA型国際監視機関の提唱"

経済産業省: 第1回 AI・半導体WG 事務局説明資料 (2026.02)

Note.com: 市民のエッセイ・レポート群